指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成22年度事業分)

1. 施設の概要

・心故の似安					
施設名	山梨県立まきば公園	所管課	畜産課		
所在地	山梨県北杜市大泉町西井出8240-1	設置年月16 (改築年月日			
管理方式	指定管理者(財団法人山梨県子牛育成協会、平成21年4月1日~平成26年3月31日)				
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立まきば公園の設置及び管理条例 山梨県立まきば公園の設置及び管理条例施行規則				
設置目的	①動物とふれあうことや主催事業の実施 畜産のPRを行うこと。 ②緑豊かな自然の中で動物と触れ合うこ すること。				
主な施設内容 (定員等)	畜産資料展示室、まきば広場、自由広場場、野鳥の森、駐車場等(ふれあい動物				
主な業務内容	○施設及び設備器具の維持保全に関す ○動物の飼養管理に関する業務 ・めん羊の増殖・売却 ・ふれあい動物の飼養管理(めん羊 3 12頭) ○牧草の栽培に関する業務 ○畜産に関する知識の普及のための催 ・フェルト教室の開催(6回 295人) ・きのこ教室の開催(1回 27人) ・めん羊の毛刈り体験(1回 100人) ・まきばウォーク(3回 13人)	4頭、山羊 6			

2. 類似施設・近隣施設

_	及於他依 是附他依			
		なし		
	名称·施設内容· 利用状況等			

3. 利用状況 単位:人、%

			平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (目標値)
	来園者	数	214,110	250,390	218,130	
	うち	主催事業参加人数	(394)	(395)	(435)	
	利用者	数合計	214,110	250,390	218,130	
	目標値		220,000	230,000	240,000	250,000
利用者数	目標値	設定の考え方	前年度の来園者 見込み数の1万 人増を目標とす る	過去5年間のな かで、平成19年 度の来園者数が 最も多かったこと から、平成19年 度と同程度の来 園者数を目標と する。	前年度の来園者 見込み数の1万 人増を目標とす る	前年度の来園者 見込み数の1万 人増を目標とす る
	対20年	度比	100.0%	116.9%	101.9%	116.8%

4. 収支状況 単位:円、%

					1 12 11 3 4 1 9
		平成21年度	平成22年度 (計画値)	平成22年度 (実績値)	平成23年度 (計画値)
	施設利用料	無料施設	無料施設	無料施設	無料施設
収	指定管理者委託料	16,820,796	16,830,137	16,830,137	16,910,729
入	その他	0	0	0	0
	収入合計(A)	16,820,796	16,830,137	16,830,137	16,910,729
	人件費	9,953,922	10,334,818	10,130,366	10,140,976
_	県への納付金	0	0	0	0
支出	管理運営費	5,983,388	6,495,319	6,699,771	6,769,753
	(うち外部委託費)(B)	1,206,911	1,443,433	1,233,508	1,443,433
	支出合計(C)	15,937,310	16,830,137	16,830,137	16,910,729
収支差額(A-C)		883,486	0	0	0
外音	『委託比率(B÷C)	7.6%	8.6%	7.3%	8.5%
利用者一人当りの経費		79	73	77	68

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。 ※利用者1人当りの経費の算定式は、指定管理者委託料÷利用者数。

5. 利用者満足度

実施方法等

実施時期:平成22年8月~10月 実施方法:利用者へのアンケート

回答数:124人

単位:%

					単位:%
調査項目		満足·十分	普通・ どちらでもない	不満足• 不十分	不明・ わからない
	園内の誘導サイン・看板等のわ かりやすさ	88.3%	10.0%	1.7%	-
施設• 設備管 理	トイレ及び休息 施設の場所や設置数、使いやす	50.4%	45.3%	4.3%	-
	花壇・遊歩道な どの園内施設の 手入れ状況	91.5%	8.5%	0.0%	I
まきばの館展示室の展示内容		72.5%	24.7%	2.8%	_
公園職員の対応		90.4%	9.6%	0.0%	_
まきば公園に来る前の期 待と比較して、満足いただ けたか?		88.6%	11.4%	0.0%	_

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	○園内の誘導サイン・看板等が分かりにくい。 ○もう少しベンチを増やしてほしい。
利用者の意見へ の対応	○施設の方角及び施設までの距離を記載した案内を作成し、設置した。今後も計画的に更新を進めていく。○ベンチについては、材料を購入し更新・増設を行っいる。

6. 評価結果

3. 評価結果		
	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	開園前、清掃時に点検を実施し、点検記録簿に記載するとともに、保安・警備を適切に実施し、利用者の安全確保に努めた。	施設の維持管理については、事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。 引き続き事業計画に沿った業務を適正に執行されたい。
運営業務	主催事業として、フェルト教室(6回)、 きのこ教室(1回)、めん羊毛刈り体験 (1回)、まきばウォーク(3回)を開催。また、他の団体が開催するイベントに支援協力した。	
自主事業		
利用状況	観光客数の伸び悩み等から、来園者数は計画の9割にとどまったが、イベント参加者数は1割ほど増加しており新たなイベント等の開催もふまえ検討していきたい。 また、集客に向けては、まきばレストランのみならず、地域観光施設等と連携を図っていく。	引き続き、施設やイベントのPRを行うとともに、イベント回数の増加及びイベント内容の充実を図るなど、年間来園者目標数の維持拡大に努めること。
収支状況	経費節減に努め、全体ではほぼ計画 どおりの執行であった。	支出全体の削減(対計画95%)により管理コストの低減が図られた。 今後も支出の削減と来園者数の維持拡大に努めること。
利用者満足度	利用者の88.5%以上が満足・やや満足と回答しており、満足度は高い。 日常管理を適正に実施し、施設の更新・整備を県と協議の上で計画的に進めながら、利用者の満足度を維持していきたい。	総合評価は88.6%と高いが、昨年よりも若干下がった。施設管理や職員対応に関する利用者からの評価は良好であった。 また、距離の掲示やトイレ案内など利用者から寄せられた意見にも、直ちに対応している。 引き続き、園内清掃や手入れを念入りに実施するとともに、園内での事故が発生しないよう十分な注意を払い、更に高い満足度を維持するようサービスの向上に努められたい
運営目標の達成 状況	入園者数は去年を下回ったものの、主催り、目標は概ね達成されている。 新たなイベントの実施や内容の充実を図	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項		
施設所管課の指 導事項に対する 指定管理者の対 応状況	〇ホームページや観光情報誌、新聞、県る。また、イベント回数の増加も計画してでいる。	公報誌などを活用したPRを実施してい おり、来園者数の増加に向けて取り組ん

